

運 輸 部

Point

外国人観光客の誘客のための施策を展開しています。

平成25年度ビジット・ジャパン 地方連携事業について

我が国では、官民一体となつて海外からの誘客を促進しており、本年においては1,000万人の目標を掲げ、外国人訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）を強力に展開しています。

沖縄総合事務局においては、ビジット・ジャパン事業の重点市場に対して、海外旅行博覧会への出展、メディアやクルーズ船社キーパーソンの招請、商談会やセミナーの実施等を通じて、沖縄への外国人観光客の誘客を積極的に実施しています。

今回は、今年度のビジット・ジャパン事業の中で実施したクルーズ船寄港誘致強化事業について御紹介いたします。

2012年における沖縄へのクルーズ

※重点市場（14市場）…台湾、香港、中国、韓国、シンガポール、タイ、アメリカ、ドイツ、フランス、オーストラリア、イギリス、カナダ、マレーシア、インドネシア

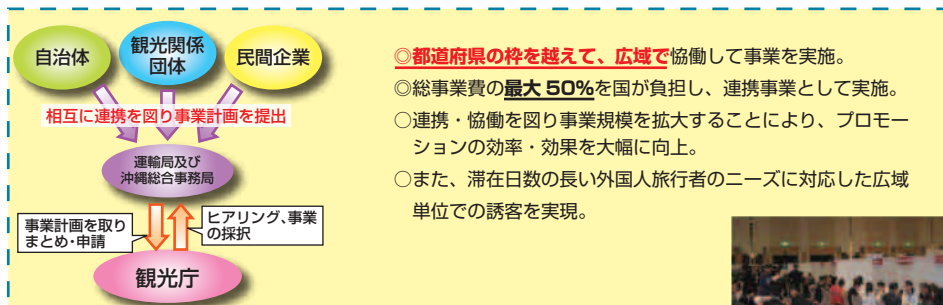
船の寄港回数は125回に上っており、2014年3月には、那覇港（泊ふ頭地区）クルーズ船専用バースに旅客船ターミナルが完成予定となっていることなど、受入環境の更なる改善が進むことから、今後更に寄港回数が増加することにより、外国人観光客数も増加することが期待されています。

そこで、（財）沖縄観光コンベンションビューローとの連携事業として、本年9月1日から7日にかけて、アメリカのクルーズ船社であるシルバーク・クルーズ社のダリウス・メタ副社長を招聘し、沖縄本島のほか、石垣島、西表島、竹富島、宮古島を視察していただき、クルーズ船寄港の適地としての沖縄の魅力をもPRしました。

今後とも外国人観光客の更なる増加につなげるべく、ビジット・ジャパン地方連携事業により、沖縄観光の魅力を発信するための効果的なプロモーションを実施していきます。

ビジット・ジャパン地方連携事業について

- 都道府県の枠を越えて、自治体等間で広域で取り組む訪日プロモーションについて、国と地方で連携事業を実施。
- 訪問地の多様化を図り、増加するリピーター需要へ対応するとともに、インバウンドに取り組む自治体間の連携を促し、滞在日数の長い外国人旅行者のニーズに即した誘客を実現。



【事業内容】

- 日本向け旅行商品造成のための旅行会社関係者等の招請
- 海外の旅行博への出展
- 海外の新聞・雑誌等への広告掲載
- 海外向け情報発信のためのメディア関係者等の招請
- 外国人観光客向けパンフレット作成
- 訪日教育旅行促進のための教育関係者等の招請 等



由布島視察



平良港視察